

MEMOIRS OF THE FACULTY OF AGRICULTURE
OF KINDAI UNIVERSITY

近畿大学農学部紀要

第53号 2020

目 次

原 著

- ナラ枯れによる枯死木と非枯死木の周辺土壌中から得られたアリの種構成の違い
----- 葛西弘・藤本将徳・渡邊拓也・出口千恵美・澤畠拓夫 1

- 脳由来神経栄養因子BDNFの心臓における発現と低酸素病態下での機能
----- 森島真幸・藤田崇史・小野克重 11

ノ ー ト

- 可溶化ヘスペリジンによるリウマチモデルマウスの症状改善作用
----- 米谷俊・川口基一郎・熊沢義雄 24

資 料

- 近畿大学地域環境モニタリングシステム 気象観測データ 2019年 1月～12月
----- ジン タナンゴナン・西野済 34

- 近畿大学奈良キャンパスにおいてイボイボナメクジの生息を確認
----- 藤本将徳・葛西弘・澤畠拓夫 42

近畿大学奈良キャンパス周辺におけるアリ相

----- 池田健一・葛西弘・合田愛・村上教介・仲村華人・石原竜・澤畠拓夫 **46**

外来生物ヤンバルトサカヤスデの和歌山県への侵入確認

----- 瀬口翔太・瀬尾友樹・澤畠拓夫 **71**

MEMOIRS OF THE FACULTY OF AGRICULTURE OF KINDAI UNIVERSITY

Volume 53, 2020

CONTENTS

Original

Differences in ant species structure in the soil under dead trees due to the Japanese oak wilt disease and its surviving trees.

Hiro KASAI, Masahiro FUJIMOTO, Takuya WATANABE, Chiemi DEGUCHI, and
Takuo SAWAHATA-----1

Functional role and expression of brain-derived neurotrophic factor (BDNF) in the heart exposed to hypoxia.

Masaki MORISHIMA, Takafumi FUJITA, and Katsushige ONO-----11

Notes

Effect of hesperidin solubilized with its glucoside on improvement of rheumatoid arthritis in mice.

Takashi KOMETANI, Kiichirou KAWAGUCHI, and Yoshio KUMAZAWA-----24

Research Data

Kindai Nara Campus Meteorological Database from January to December 2019

Jean TANANGONAN and Wataru NISHINO ----- 34

The new records of *Granulilimax fuscicornis* in Nara campus of Kindai University

Masanori FUJIMOTO, Hiro KASAI and Takuo SAWAHATA ----- 42

Ant fauna around the Nara Campus of Kindai University

Kenichi IKEDA, Hiro KASAI, Ai GOUDA, Kyouusuke MURAKAMI, Isihara RYU,
Kahito NAKAMURA and Takuo SAWAHATA ----- 46

The records of an alien diplopod species, *Chamberlinius hualienensis* in Wakayama Prefecture.

Shota SEGUCHI, Yuki SEO and Takuo SAWAHATA ----- 71

近畿大学農学部紀要投稿規程

1. 報文の投稿者は、近畿大学農学部教員、大学院生（修了後３年以内）、学部学生（卒業後３年以内）とする。ただし、共著者については、本学部の、技術員、研修員、研究員他を含むが、部外*の共著者が筆頭者となる報文の投稿については、事前に紀要委員会の承認を得なければならない。また、大学院生、学部学生が投稿する場合には担当教員の承認を必要とする。
2. 報文は、投稿者の原著、ノート、総説、総合論文、調査・資料とする。
3. 原著は、本規程ならびに原稿作成要領に従って作成されたものでなければならない。
4. 報文は、原則電子入稿とする。
5. 報文は、各学科の紀要委員を経て委員長に送付し、紀要委員長が受け取った日を受理の日とする。
6. 原稿は、すべて編集会議において掲載の可否を審議する。
7. 編集会議において、そのまま掲載できないと判断された場合は、その理由をふして著者に訂正を求める。この場合は、訂正原稿が委員長のもとに到着した日を受理の日とする。編集会議は紀要委員長が査読者の意見を聞き、紀要委員会にかける。
8. 紀要委員会は、編集会議の参考に資するため、投稿原稿の査読を本学部に所属する２名以上の教員に依頼する。投稿者に査読者を推薦して決めてもらう。
9. 報文の掲載は、原則として受理の日順とする。ただし、内容による区分等を必要とする場合等を考慮することがある。その際には、編集会議で掲載順を決定する。
10. 報文の著者および共著者は、当該報文の著作権が近畿大学に帰属すること、および掲載された報文については近畿大学学術情報リポジトリにて公開されることを承諾したうえで投稿しなければならない。リポジトリの記載事項は、各委員が投稿者に見本を渡す。

*附属農場、水産研究所は、部内に準じるものとする。

附記 平成１７年７月改正
平成２５年６月改正
平成２６年６月改正
平成２７年６月改正
平成３０年６月改正

紀要投稿に関する諸注意

1. 投稿の締切日は、9月30日に定める。ただし、日曜日の場合は、翌日10月1日とする。
2. 投稿するときは、原則所定様式の投稿カード（電子媒体）に必要事項を記入し、原稿（電子媒体）とともに学科の紀要委員に提出する。
3. 原稿は、図、表、写真、英文 synopsis を含め、紀要委員長に1部提出する。
4. 英文原稿には、和文の表題、和文の姓名、200字程度の和文要旨、およびキーワード（5語以内）を添える。また、和文原稿には、英文表題、ローマ字表記の姓名、200語程度の synopsis およびキーワード（5語以内）を添える。
5. 英文原稿の場合は、あらかじめ投稿前にネイティブの英文校閲を済ませたものでなければならない。和文原稿の synopsis は、投稿前に同様に英文校閲を済ませたものでなければならない。未校閲の投稿は受け付けない。
6. 校正は、最終校を除き著者がおこなう。原則として、文章または図表の変更や追加をしてはならない。
7. 別途、別刷りを希望する場合、当該請求者の支払いとする。（学部予算は使用しない）

附記 平成25年6月18日改正
平成26年6月12日改正
平成27年6月 8日改正
平成28年6月 1日改正
平成30年6月29日改正

電子媒体に関する諸注意

1. 電子媒体は、USB メモリーあるいは電子メールを指す。
2. Microsoft Word Version2007 以降のソフトウェアを使用する。
3. 本文および表
字体（フォント）は、明朝体（MS 明朝体、細明朝体）とする。
ポイントは、表題 12 文章 10.5 とする。
英文の場合は、Times New Roman とする。
全て過去の紀要論文の体裁に従うことにする。
4. 電子媒体がそのまま紀要として学術情報リポジトリに掲載される。

附記 平成25年6月18日改正
平成26年6月12日改正
平成27年6月 8日改正
平成28年6月 1日改正
平成30年6月29日改正

近畿大学農学部紀要委員会

編 集 委 員 会

小枝 壮太
澤田 好史
飯田 彰
米谷 俊
城島 透
武田 徹

近畿大学農学部紀要 第53号記念

令和2年3月31日 発行

発行者 江口 充

編集人 米谷 俊

発行所 近畿大学農学部
奈良市中町3327-204